平成 2 9 年 第 3 回

江戸川区教育委員会定例会会議録

日 時：平成 2 9 年 2 月 1 4 日（火）午後 2 時

場 所：教育委員会室

教育長	白 井 正三郎
教育長職務代理者	上 野 操
委員	松 原 秀 成
委員	尾 上 郁 子
委員	石 井 正 治

事務局	教育推進課長	柴 田 靖 弘
	学務課長	川 勝 賢 治
	指導室長兼教育研究所長	市 川 茂
	学校施設担当課長	高 橋 和 彦
	統括指導主事	中 山 兼 一

書 記	教育委員会事務局	
	教育推進課庶務係長	岡 田 隆 史
	同 主査	飯 田 常 雄

	開 会 時 刻 午後 2 時
白 井 教 育 長	<p>ただいまから、平成 2 9 年第 3 回教育委員会定例会を開催します。</p> <p>はじめに日程第 1、署名委員を決定します。松原委員と尾上委員にお願いいたします。</p> <p>続いて日程第 2、議案の審議にまいります。</p> <p>はじめに、継続となっております陳情第 1 号を審議いたします。今日、前回お話ししたように、各委員からご意見を意見開陳というのでしょうか、いただくことになっておりますので、お願いしたいと思います。</p> <p>それでは、石井委員からでよろしいでしょうか。</p>
石 井 委 員	<p>わかりました。まず、1 番、入学準備金の支給を入学前の 3 月に支給してくださいということなのですが、これについては、もしこれをお認めするようなことになると、言ってみれば、基準を二つ持つようなダブルスタンダードを区として提示しなければいけないというようなことになろうかと思えます。一つの事柄、つまりお子さんが入学するという事柄に対して、二つのスタンダードがあるということになるのは決して望ましいことではないと思ひまして、1 番は基本的に反対ということを申し上げます。ただし、あらかじめお金が借りられるようなそんなシステムは何とかならないものかなということを私個人の意見として付議させていただきます。</p> <p>2 番目なのですが、就学援助の認定基準は所得にし、認定率を引き上げてくださいという事柄に関しては、これは、やはり反対ということで申し上げたいと思います。理由といたしましては、収入により認定するという現在の取り扱いでも特に問題はないのではないかと感じております。以上でございます。</p>
教 育 長	<p>今、お話しいただいたことで、2 点とも不採択ということによろしいでしょうか。</p>
石 井 委 員	<p>はい。</p>
教 育 長	<p>それでは、尾上委員、お願いいたします。</p>
尾 上 委 員	<p>私も 2 点に関して、お話させていただきたいと思います。まず、1 点目ですけれども、前回もいろいろお話をさせていただきましたけれども、本当に</p>

大変な家庭というのはやっぱりあるとは思いますが。そういう中で、本当に利息等がつかないような形で、もし本当に厳しい人に関しましては、事前に申し入れをしていただくというそんな制度というのでしょうか。そういうものはあっていいのかなと思っております。それを教育委員会でということではなく、やはり区の行政の取り組みの中で、しっかりと対応をしてあげてほしいなと、そんなふうに思っています。やはり大勢の方が入学に当たって、いろいろな準備を進めてくることは確かでございますけども、そういう方々への門戸もあっていいのかなということで、教育委員会としてのこの制度の取り組みというのは反対ということで、ぜひ違う形でそういう門戸を開いていただければと思います。

あと、2番目に関しましては、先日もお話を伺いましたけども、認定基準の所得と認定率というのは、ほとんど大差がないというお話も伺いました。であれば、現状のままでいいのではないかなと、そんなふうに感じております。ですから、やはり2番目も不採択と、そういうふうに思っております。以上です。

教 育 長 不採択ということで、いただきました。それでよろしいですね。

尾 上 委 員 はい。

教 育 長 それでは、松原委員、お願いします。

松 原 委 員 結論から申し上げますけども、1番、2番とも私自身は不採択というように考えております。その理由といたしまししょうか、根拠なのですが、前回もちょっとお話し申し上げましたけれども、やはり1番に関しては、前もって補助金を前々年度の状況で付与するという形なのですけれども、せんだって担当のほうからご案内があったように、ある地区では、要するに返還を求めない。それから、ある地区では、異動したところの区市に通告をするということなのですけれども、やっぱり公平性とう区民のいわゆる税金を回収しなくていいのかということには疑問を持っています。それが1点です。

それから、長年教職に携わっていて、この2番とも関連するのですが、非常に給食費の回収一つにとってみても、困難な状況がかなりありまして、時折給食費の回収ができないので、教育委員会がこの事務をやるということも、つい最近ニュースに出たと思うのですけれども、そのような親御さんも、もちろん若干なのですけどいるのです。そのような観点から、常日ごろ、保

<p>教 育 長</p>	<p>護者、親御さんのいわゆる責務、努力義務といいましようかね、そういう点が私自身は、経験を踏まえた上で、もっと自覚をしてもらいたいなというふうに考えるわけであります。</p> <p>ただ、家庭によっては、今、尾上委員さんがおっしゃったように、緊迫した家庭の方も当然、交通事故でご両親が不慮の事故で亡くなって、あるいは親戚等もなくて、そういう場合には、教育委員会ということではなくて、福祉部とかそういう相談するところが当然あると思いますし、そういった点多分配慮ができるのだろうなというふうな観点から不採択という形になります。</p> <p>2についても、今、申し上げた中で、現状としては本区の認定の状況でいいのではないかなと思っておりますので、こちらも不採択ということで考えております。以上です。</p> <p>ありがとうございます。では、根拠はお話しいただきましたので、 とも不採択ということでした。</p> <p>では、最後になりますが、上野委員、お願いいたします。</p>
<p>上 野 委 員</p>	<p>昨年、総合教育会議を開催し、区長が教育大綱を策定いたしました。その中で、子どもの貧困が社会問題として取り上げられ、本区においても、社会経済状況や保護者の状況により苦しい環境に置かれた子どもの存在があることは事実であると、そこで、区は学校、地域の協力を得ながら子どもの成長支援に向けた取り組みを拡充するなど、積極的対応に着手するところであると、こういうことを言っていますね。</p> <p>これは、まず、第一に区自体、要するに一般行政、区長を首長とする側の方針ですけれども、当然教育に絡むことですから教育委員会もこの趣旨には賛同しているということになると思うんですね。</p> <p>そして、この基本方針の1に対する我々の会議における意見の一つとして、さまざまな事情により貧困と呼ばれる状況に置かれている家庭も存在すると。子どもの健やかな成長を支えるためにも取り組みを強化する必要があると。こういうことが書いてあるんです。そうしますと、今回の陳情の総論的な趣旨というものは、今、私が読んだ教育大綱の理念というかそういうものに一致するわけで、むしろこれは貴重な意見としてとどめておくべきじゃないかというのが総論的な立場であります。</p> <p>その次は、今まで議論されたように結果的に公正を欠くような前払いをしたことによって出た場合はどうだろうかというのですが、まず、前向きに支</p>

払う場合の基準というものが、やはり前の基準でやるわけですね。それでは要件を満たして支援するという事になったけれども、新年度になって、具体的な新基準で審査してみたら、これはやはりよかったということになれば問題は私は余りないと思うんですね。そうじゃなくて、新年度で基準を固めたら違っていったという場合に、その差をどうするのか。あるいは、支給する対象にならなくなったという場合にはどうするのかということですね。わかりやすく支給対象じゃなくなった場合には、既に前払いしたお金は、これは返還請求してもらわなくちゃならないわけです。

もう一つは、やはり前倒しで認めて払ってあげたと。その人が他区へ入学した、他市へ入学したというときには、これはもう一度、新しい方法で判断した場合に、さらにそれでも要件を満たしていたという場合でも、当区へ来るんじゃないくて他区へ行ったりするわけですから、これは返還請求の対象となると思うんですね。

返還請求を求めるような場合になった場合には、回収する責任は教育委員会が受領した保護者に対する案件になるわけですね。しかしながら、私は、回収は難しいと思うんですね。回収はできないことはないけど、難しいじゃないかと思うのです。

だから、今の時点、今日の時点で賛成かどうかと言ったらやっぱり反対、不採択にならざるを得ないのと思います。

教 育 長

そうしますと、今、いろいろご意見いただきました。石井委員は基準がダブルスタンダードになってしまうのは望ましくないというような意味で についていかれますと不採択。尾上委員は、この制度の対応ではなく、区の行政の中での対応ということで不採択をいただきました。松原委員は、 につきまして、不公平の問題があるでしょうということもございまして、それはご自分の教員としての給食費の回収のこともあって、実態としてはなかなか回収難しいでしょうというお話もありました。そういうこともあるので不採択ということでありました。上野委員も総合的な趣旨は否定できないだろうけれども、最終的には不採択ということもございました。そういうようなことでは、石井委員も尾上委員も松原委員も緊迫した家庭の方もいるだろうから、担当部へのきちんとした配慮が必要だろうという中での不採択ということもございまして、答えとしては不採択ということに4人ともなっておりますので、不採択とさせていただきたいと思います。

それでは、 につきましては、今と同じようなことでもございますが、大差は今のものでもないだろう。それから、本区の認定の状況で大差ないという

	<p>か十分だろうというお話もいただきまして、同じような考えのもとで、 についても不採択ということでございますので、第1号陳情につきましては、理由は今、お話ししたとおりのものを持ちまして不採択とさせていただきます。よろしいですね。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
<p>教 育 長</p> <p>柴田教育推進 課長</p>	<p>続きまして、第4号議案、江戸川よさこいMyフェスタ2017開催に伴う教育委員会後援名義の使用承認についてを議題といたします。事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>第4号議案、江戸川よさこいMyフェスタ2017開催に伴う教育委員会後援名義の使用承認についてでございます。お手元に申請書、これは、初めて教育委員会での後援名義の使用承認についての議案でございます。申請書をおつけしてございます。</p> <p>行事名は、江戸川よさこいMyフェスタ2017、申請者は、江戸川Myフェスタ実行委員会、実行委員長の名前でございます。事業の目的でございますが、幼い子どもからお年寄りまで世代を超えた人たちが、踊りを通じて触れ合うことができる心豊かな交流の場を設営し、地域や家族、大人と子どもたちの心のきずなをより深めることを目的としますというものです。実施時期は、29年7月17日、9時から17時まで1日間で、会場は葛西臨海公園、汐風の広場、展望の広場でございます。事業規模ですが、踊りの参加チーム35チーム、総人数600から650人、午前の部は、第13回南中ソーランコンテスト、午後の部は、第11回自由演舞コンテストというものです。経費の徴収ですが、各団体、企業より協賛金をいただきます。1チーム当たりの金額が6,000円、参加費でございます。ただし、括弧書きでございます。従来どおり小・中・高、学生のチームは3,000円といたします。徴収の名目でございますが、参加費としてということで、後日、集合写真を撮って、それをCDに焼いて郵送しますと、そうした経費も含まれますということです。添付資料といたしまして、後ろのページに企画書、今、ご説明したような内容のことが詳しく書かれております。</p> <p>それから、予算書、収入の部でございますが、団体・企業の協賛金、それから、特別協賛、そして、参加チームの参加費、それから、売上金としてCD、これは、よさこいの踊りをレッスンというような形でのCDを販売するということがございました。それから、レッスンのDVD、こういったもの</p>

	<p>の売上金、それから、Tシャツをつくってのその売り上げ、前期の繰越金ということでございます。収入合計76万3,457円。</p> <p>支出の部でございますが、公園の占用料、それから、プログラム等の印刷代、ポスター製作費、そして、Tシャツの作成費、音響設備費、こういった経費を見込んでおまして、支出合計としましては、76万3,457円ということでございます。</p> <p>次のページには、実行委員会の規約、そして、実行委員会の名簿、次のページには、今年の江戸川よさこいMyフェスタのプログラムの写しをおつけしてございます。最後のページには、これは午前、午後、今年のものとございますが、こうしたプログラムで実施をされたというものでございます。こちらにつきましては、以上でございます。</p> <p>ちなみに、これは区のほうの後援名義はこれまでもおとりになっているということですが、教育委員会は初めての後援名義申請ということでございます。以上でございます。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございました。江戸川区でこれまでも後援名義をとっていて、江戸川区教育委員会もぜひお願いしたいということですね。</p> <p>それでは、この件に関しまして、ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。</p>
上 野 委 員	<p>この役員さんたちの名前を見たのですが、まず、実行委員長さんはどういう方ですか。</p>
教育推進課長	<p>実はこの方がよさこいのチームを、まずチームを持っていらっしゃいます。これを広めていこうということで、Myフェスタというイベントをスタートする際に実行委員長としておやりになった方ございまして、ご自身が主催するチームが地域まつりでもステージ発表に関係団体として参加をされているチームでございます。同時にこういったMyフェスタというものを開きながら広くよさこいの普及活動をする。また、小・中学校も実は江戸川区で参加をされているチームがございますので、そういったことも含めて、これを広めていこうと尽力をしている方でございます。</p>
松 原 委 員	<p>質問なのですが、これ、今年の写真ですよ。この行事は、何回目ぐらいなのですか。</p>

教育推進課長	申請書のところに書いてございますが、午前中のコンテストは13回目。午後の部は、自由演舞というコンテストになりまして、こちらは11回目。
上野委員	ということは、11年、13年とたっている。
松原委員	わかりました。
尾上委員	私たちが気合入ったソーラン節よく拝見させていただきましたけども、午前の部、プログラムの中には、最初に江戸川区の小岩小学校が出ているのですけれども、大勢の学校がやっていて、この北小岩だけが出場したのかなって、その前には何か予選会みたいなのがあってここに来るのかなと思ってみたりもしているのです。どういう形で大勢の学校がやっていて出場ができるというふうになってくるのでしょうか。
教育推進課長	たまたま去年のプログラムの写しの中には、一番上に北小岩小学校、それから、10時45分のところに二之江中学校になっていますけれども、以前は、例えば、一之江小とか二之江中、それから、小岩四中というふうなことで、大体4校、5校ぐらいの参加はあったようですが、特に受付をして落とすとかそういうことではないと聞いております。たまたま学校の行事も含めての申し込みがあった、ないということの違いだというふうに聞いてございます。
尾上委員	わかりました。
上野委員	そうすると、参加校は、要するに衣装といいますか制服といいますか、統一した衣装をおのおのみんなで開催するんでしょう。それは各学校によって違うんでしょうか。
教育推進課長	よく周年行事でござんいただいたときに、揃いはっぴを用意しています。そのときにお話を聞くと、周年行事の祝う会の方々が寄付をしてくれるということ聞いたことがあります。
教育長	同じはっぴを持っていますよね。
上野委員	色とりどりなんでしょう。全部統一じゃないでしょう。

教 育 長	学校ごとですよね。
石 井 委 員	江戸川よさこいMyフェスタって、ずっと葛西臨海公園でやっていると思うのですね。もう数年前になりましたよね、2年前か3年前か、拝見したことがあって、物すごくいっぱい人がいらっしゃるんですね。上野先生がおっしゃっていたように、一つの連といいましょうか、団といいましょうね。そこは統一したユニフォームを全部持っていて、こちらでは、江戸川区のチームということでご紹介がありましたが、むしろほかのグループ、自由演舞の方が物すごく多くて、言ってみれば日本全国から来ているなというようなそんな感じがするぐらいすごいものでした。
尾 上 委 員	私は、今までが江戸川区が後援ということで、今回、教育委員会にということは、何かいろいろな趣旨があるのかなと思ってしまったのですが、長い伝統があるのですけれども、その中でもっともっと江戸川の学校の子どもたちが参加できるような何か形で出ているのが江戸川よりも他区というか、他地域が多いということを考えてときに、そういう点もしっかりと捉えて、江戸川区の子どもたちが一生懸命やっておりますので、出られるようなそんな環境つくってあげられるといいかなと、そんなふうに思っております。意見です。
教育推進課長	後援名義につきましては、主催団体さんといいますか、団体さんがどこに後援をいただきたいかと申請主義でございますので、まず、お考えになるのが江戸川区というお考えになるのかと思います。そこに今回のように子どもたちも参加しているからとか、学校にも広く呼びかけたいからとか、あと、実はこのフェスタにつきましても、毎年小P連で、説明に来られておりました。その中から教育委員会にも今回、後援名義の申請をというお話が来たとお聞きしております。
教 育 長	よろしいでしょうか。 〔「なし」と呼ぶ者あり〕
教 育 長	では、他にないようでございますので、原案のとおり決定させていただきます。ありがとうございました。

	<p>続いて、第5号議案、教育管理職の異動についてを審議いたします。この議案は人事に関する案件であることから江戸川区教育委員会会議規則第13条に定める秘密会として審議したいと思います。賛成の方は挙手をお願いいたします。</p> <p>〔賛成者挙手〕</p>
教 育 長	<p>全員賛成でございます。これより、会議は秘密会となります。</p>
	<p>〔第5号議案 秘密会により審議〕</p>
教 育 長	<p>続いて、第6号議案、平成29年度以降の組み体操における一部種目の禁止についてを議題とします。事務局から説明をお願いします。</p>
市川指導室長	<p>それでは、よろしく願いいたします。平成29年度以降の「組み体操」における一部種目の禁止についてということで、資料をお配りしたところでございます。1枚目が、各学校への通知の案文でございます。それから、2枚目以降が、昨年末に都教育委員会から各市町村の教育委員会宛に送られた通知の文になります。</p> <p>まず、参考までに、都の教育委員会の対応方針について御案内させていただくと、昨年春の都教育委員会の通知では、いわゆるピラミッドとタワーについては、原則として休止という方針を都は示してきました。</p> <p>しかしながら、本日お配りした12月に配られた通知によりますと、休止という表現から、原則として禁止。禁止といった言葉に変えています。しかしながら、教育的意義とかいろいろな事情がある場合は、教員の指導経験とか、指導技術とか、指導体制を点検・確認した上で、学校全体で実施したいという意志が強い場合については、都教育委員会が協議を行うといったこともあるんですけども、ただ原則としては禁止という強い表現に変わっています。</p> <p>1枚目に戻っていただきたいんですが、本区におきましても、昨年春、4月に、各学校宛に通知したものについては、いわゆるピラミッドとタワーについては、原則として休止という表現を使っていました。休止という言葉ですと、一定期間休む、とめる、といった意味でございまして、その先はもちろ示してないということになるんですが。</p> <p>今回は、今年度、実際に運動会を、同じピラミッドとタワーをやめるとい</p>

う方針でやった結果、例年になくけがも減ったということもございます。それから、各学校、ピラミッドとタワーは行わなかったんですが、その中でも十部工夫して、見ごたえのある演技をしてくれた学校は、非常に多かったということも鑑みまして、こちらも都教育委員会に習うわけではないんですが、一定期間休止という表現ではなくて29年度以降原則として禁止という表現のほうが、学校それから保護者に対しても、きちんとわかりやすくなるのではないかという判断をしました。そういったことから、この1枚目の案文をつくらせていただいた次第でございます。

なお、記書きの文の、また以降の留意点につきましては、前回の通知にも記しましたが、それぞれ指導体制をもって、練習本番の実施に当たるであるとか、事故防止の観点から計画や運営を行うなど、同じ配慮事項を、それぞれ掲載することを考えております。

以上こういった案文を、区の教育委員会の方針として、各学校に示したいと考えております。ぜひ、審議のほうをお願いしたいと思います。

以上でございます。

教 育 長

それでは、この件につきまして、御質問、御意見がありましたらよろしくお願いいいたします。

上 野 委 員

まず、禁止か休止かということは、原則としてと書いてあるんで、例外は両方にありえますので、体制には影響ないんですが、しかし、生徒としては休止というのは、今、休んでいるんで、また復活する可能性をにおわせていますよね。禁止というのは、もうやめたよということですから強いと思いますので、禁止のほうがいいと思います。

それから、原則としてというのも、やがては例外なく禁止というふうな方向にいくかもしれませぬよね。

都内じゃないんですが、どこか都外でけがをした人が、学校がありましたね、ピラミッドか何かで。それは、人数は少ないけれども、全校にやらせた。全クラスですか、やらせたということです。ですから、やるとしたらば、その希望者だけ、あるいは部活的にやるということはいいと思うんですが、それが今のところやっぱり、例外の中に入るのかなど。例外の中でも、全員にやらせるというやり方が、これはいろいろ問題があって、嫌で嫌でしようがない人も入れてやっているっていうのは、かわいそうですよね。だから、その他の種目を中心にして、やがては原則もなくなるというふうに、行くべきじゃないかなと私は思いますね。

教 育 長	ありがとうございます。それは御意見ということで。他にございますか。
上 野 委 員	この案については、賛成です。
教 育 長	賛成ですね。賛成で、今のご意見をいただきました。
尾 上 委 員	<p>各学校、運動会いろいろな取り組みをして、このピラミッドやタワーをしなくても、本当にすばらしい演技をしているなということは、やはり多く見てきました。</p> <p>ピラミッド、タワーをしているときも、観客の保護者の人たちは祈るような気持ちで、大丈夫か大丈夫かといって、もうハラハラしながら、本当にもう、よかったよかったとか、いろいろ言っているんです。見ているほうも、いろいろな思いで見えていたなと思いますので、本当に今回、こういう形で禁止という形にしていくって、また各学校さまざまな取り組みをして、子どもたちが本当に満足というんでしょうか。やり切ったっていう、そんな運動会になっていけばいいなって、そんなふうに思いますので、このことは私も賛成です。</p>
教 育 長	ありがとうございます。では、お二人からも意見等いただけますか。
松 原 委 員	私も賛成でございます。やはり運動会の男子にとって、この集団的な種目という点で、組体操は欠くこともできない演技だと思ってます。この二つのタワーやピラミッドを除いて、創意工夫をしてすばらしいマスゲームが可能だと思いますので、ぜひ先生方も頑張ってもらいたいと、そのように考えます。
石 井 委 員	<p>私も、禁止とするということに賛成です。これも以前からお伺いしていた事柄ですが、運動会に向けての練習というのが、体育の正課ではなく行われるということが、やっぱり非常に引っかかりまして、正課でないところで、本質的に重篤なけがを起こす可能性のある、そういう演技の練習をするということは、やはりかなり問題だろうと思いますので、禁止ということに賛成です。</p> <p>お願いが一つありまして、記書きの2番、体育活動における事故防止に関する資料を参考にし、とありますが、これは資料も添付をしてと、各学校に</p>

指導室長	<p>お知らせいただけるという、そういう理解でよろしいでしょうか。</p> <p>すみません。この体育活動について、広報誌に関する資料というのが、特定の一つのものを指しているわけではなくて、いろいろなところでいろいろな時代に、学校に対して発行してきているんです。ですから、当然、学校には、例えば都がつくったものであるとか、国がつくったものであるとか、さまざまなものがあるので、そういったものをぜひ積極的に見てほしいと。そういったレベルのものです。ですから、この通知に添付するというのが、ずばりというのが、なかなかあるわけではないといった事情がございます。</p>
石井委員	<p>そうですね。難しいところですね。</p> <p>学校によっては、保護者の皆さんが、やったわとか、やってよというような、強い意見が出てこないとも限りませんで、そのときに、こうこう、こういう事事例が、重篤な事事例があるんだよというのが、ぽんと出ると、そうなのかと納得をしていただけたらと思うんですね。そんな意味合いで、この資料があるといいんじゃないかなと思ったところです。</p>
指導室長	<p>それに関連してですね、実は、都の教育委員会が、通知を12月には出しているんですが、3月末に各区市町村の教員を対象にして、大学を会場にして、1日この組み体操にかかわる講習会を開く予定なんです。その講習会は、江戸川区からも指導室の指導主事だけではなくて、小学校、中学校から代表の1名に参加していただくんです。</p> <p>その内容は、必ずそれぞれの地区に帰って全校に伝えるっていう、そういう性質のものでございまして、3月末にその都の講習を受けた教員が、今度は講師となって、江戸川区全校の教員を対象に研修会を開きます。内容として詳しいことはまだわからないんですが、ただ、講義と実技演習という形でメニューが組まれています。</p> <p>ですので、恐らく講義の中で、今までの事事例であるとか、あとこういった指導の徹底が必要だとか、どういったときにけがが起りやすいとか、そういった資料も間違いなく配られるんじゃないかなというふうに私どもは思っているところなんです。</p> <p>ですから、それに関しては、必ずそこで使われた資料は、全学校、幼稚園もなんですけれども、含めて配布をして、必ず決定するよというふうな指示は、私どものほうからしたいなというふうに考えているところがございます。</p>

教 育 長	よろしいですか。
石 井 委 員	ありがとうございます。
教 育 長	<p>それでは、この件の第6号議案につきましては、皆さん、禁止ということで賛成ということで、よろしいでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
教 育 長	<p>ありがとうございます。それでは、原案のとおり決定させていただきます。それでは、続いて日程第3、教育関係事務報告にまいります。初めに、教育委員会後援名義の使用承認についての報告にまいります。事務局から説明をお願いします。</p>
教育推進課長	<p>教育委員会の後援名義の使用承認につきまして、教育推進課から2件ご報告を申し上げます。</p> <p>1点目でございますが、あいさつ運動キャンペーン。申請者は江戸川区青少年育成地区委員会会長でございます。内容でございますが、あいさつ運動を区内全域で展開し、地域の連帯感を高めながら、子どもたちの健全育成を図る。区広報、地区委員会広報などにキャンペーン記事を掲載し、関係施設や町会などの掲示板にポスターを掲示するというものでございます。</p> <p>後援の内容でございますが、後援名義の使用、そして幼稚園、小学校、中学校のポスター掲示で、今回で27回目でございます。同様に、江戸川区にも、後援の申請が出ています。実施日時でございますが、29年4月1日から5月31日まで。区内全域の区民を対象に行うものです。経費その他、賞状等の申請はございません。</p> <p>2点目でございます。よろしいでしょうか。</p>
教 育 長	どうぞ、続けてください。
教育推進課長	<p>2点目は、行事名、子どもたちのために芸術ふれあいフェスティバル2017。申請者は、子どもたちのための芸術ふれあいフェスティバルの実行委員会実行委員長からのものです。事業の内容でございますが、目的、概要でございますが、芸術鑑賞、芸術文化体験、そして伝統文化のふれあいを通じ</p>

	<p>て、子どもたちの創造性、表現力、社会性を育むことを目的とすると。例年、区や小中P連、小中校長会、医師会も講演をお願いしている状況です。</p> <p>後援の内容については、後援名義の使用です。教育委員会の後援名義は9回目になります。同様に、江戸川区の後援も申請が出ております。実施日時でございますが、29年7月2日、日曜日、タワーホール船堀大ホール・展示室等を会場としまして、区内小中学生、一般区民を対象に行われます。経費の徴収にございますけれども、参加のプログラムごとに材料費等を徴収をするというものでございます。</p> <p>2点につきまして、ご報告でございます。よろしく願いいたします。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございます。今の2点につきまして、御質問、御意見ございましたらお願いいたします。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
教 育 長	<p>よろしいですか。では、ないようでございますので、ただいまの報告事項、了承させていただきます。</p> <p>続いて、平成28年度インフルエンザによる臨時休業状況についての報告にまいります。事務局から説明をお願いします。</p>
川勝学務課長	<p>インフルエンザの臨時休業、学級閉鎖の状況でございます。</p> <p>要点は、下のほうに書いてございますけれども、2番の、都内のインフルエンザの流行ということで書かせていただいておりますが、注意事項と傾向の日付でございますけれども、今年度のほうが、昨年度より早い流行ということでございまして、江戸川区におきましても、3番のほうに数を書かせていただいておりますが、小学校、中学校、幼稚園はゼロでございますけれども、この数が学級閉鎖ですね。右側の123、96ということでございまして、昨年度と同じ次点と比べて、小学校は若干多いということでございまして、中学校がかなり数が多いと。ただ、1、2年生に発生しておりますので、受験期にも3年生については、しっかり予防をされてるのかなというところでございます。</p> <p>内容としては、今、早めに出てきておりますので、もうピークを越えているのではないかとこのところでございますが、引き続き、学校と連携を取りまして、今後もしっかり取り組んでいきたいというふうに考えております。以上でございます。</p>

教 育 長	今の件につきまして、御質問、御意見がございましたらお願いいたします。
教 育 長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
教 育 長	<p>それでは、ただいまの報告事項を了承させていただきます。</p> <p>続いて、平成28年度授業の達人表彰についての報告にまいります。事務局から説明をお願いいたします。</p>
指 導 室 長	<p>それでは、本年度の授業の達人の資料をお配りしたのでごらんいただきたいと思います。今年度は15名の推薦がございました。詳しくは、それぞれこの名簿をごらんいただければと思いますけれども、この授業の達人の表彰ですが、例年やっているところではあるんですけども、目的としては、各教科等において、自らの資質の向上を目指し、学校・園及び区教育研究会における教育活動や諸事業に積極的に取り組むなど、常に研究と修養に努め、高い実績を上げている教員を評価し、表彰するといったものでございます。なお、それぞれ、この授業の達人、今年度15名いるんですけども、一番右に教科等というところに、教育相談から始まりまして、それぞれいろいろな評価、それから学級経営であるとか、音楽、ダンス。これは、実はこの授業の達人に認定するための選考基準として、まず校長、例えば一番上の方で言えば、小松川第二小学校の所属ですので、小松川第二小学校の校長の推薦がまずないといけません。</p> <p>それと、一番右側の、先ほどご案内した評価等の欄、これは研究会に所属している教科等になるんですけども、一番上の方で申し上げますと、教育相談部に所属していますので、教育相談部の部長の校長の推薦もないといけない。つまり、二人の校長の推薦がないと、この授業の達人には選考されないというような基準でやっているところでございます。</p> <p>今年度については15名ですが、年によって、この人数は若干違うんですけども、基本的には人数制限というのは行っていません。それぞれ選考基準を満たしていれば、認定するといった形を取らせていただいているところでございます。なお、この後なんですけれども、本日午後4時から、第一委員会室で表彰式、それから、その後、懇談を予定していますので、ぜひよろしくお願ひしたいというふうに思います。</p>

教 育 長	<p>概要は以上でございます。</p> <p>この件につきまして、御質問、御意見がございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
教 育 長	<p>それでは、ただいまの報告事項を了承させていただきます。</p> <p>続いて、教職員の人事の報告にまいります。人事に関する案件であるため、秘密会により審議したいと思いますが、賛成の方、挙手をお願いいたします。</p> <p>〔賛成者挙手〕</p>
教 育 長	<p>全員賛成でございます。これより会議は秘密会議にさせていただきます。</p> <p>〔秘密会により報告〕</p>
教 育 長	<p>続いて、いじめ電話相談 1 月分についての報告にまいります。事務局からお願いいたします。</p>
指 導 室 長	<p>それでは、1 月分のいじめ電話相談について御報告させていただきたいと思っております。1 月は 1 件でございます。学年、それから性別は、小学校 6 年生の男子で、相談者はお母さまでございます。内容としては、6 年生になってからいじめを受けていると。内容として、友達から無視されている、それから、今はなくなったんだけど、一時ボールを投げられるといったこともあった、といったような訴えでございます。概要は以上でございます。</p>
教 育 長	<p>この件につきまして、御質問、御意見はございましたらお願いいたします。よろしいですか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
教 育 長	<p>それでは、この報告事項を了承させていただきます。</p> <p>以上をもちまして、平成 29 年第 3 回教育委員会定例会を終了させていただきます。</p>

閉会時刻 午後 3 時 4 5 分